

阪大分会ニュース

関西単一労働組合大阪大学分会
大阪市淀川区十三東 3-16-12 TEL&FAX:06-6303-0449
http://handaibunkai.xxxxxxxx.jp/
E-mail:handaibunkai@yahoo.co.jp

あらゆる相談受付中！！

正規・非常勤・派遣・委託など1人でも
入れる組合です

2015年3月末解雇阻止！ 170人の長期非常勤職員を雇止めするな！

2014年4月契約更新時に

「次年度更新なし」を強要するな！

非常勤職員のみなさん。大学で働くすべての労働者のみなさん。

大学は「働き続けたいと生きていけない」と訴える長期非常勤職員たちの声や学内労働組合の反対意見を封殺して、2009年10月の「お知らせ」を強行実施し、2015年3月末雇止め解雇に向け突っ走っています。2004年の大学法人化当時、長期非常勤職員は約400人いました。ところが、この間、大学は80人を特例職員に採用したものの、約150人もの長期非常勤職員を退職に追い込み、現在約170人を2015年3月末解雇の不安に陥れています。しかし、大学がどんな理屈を並べ立てようと、「お知らせ」は10年、20年と働いてきた長期非常勤職員の生活権・労働権を奪うものであり、社会正義に反するものです。私たちは約170人の長期非常勤職員の2015年3月末解雇を絶対に許すことはできません。

大学は団交をおこなえ！

法人化後1年契約を更新してきた長期非常勤職員に対して、大学は本来であれば、これまでどおりに次年度の更新を前提とした1年更新の契約をしなければなりません。しかし、この4月1日契約更改時に、大学は「次年度更新なし」の契約内容を強要しようとしています。何がなんでも「お知らせ」を強行実施し、長期非常勤職員を解雇においこみ、長期非常勤職員の存在を消し去ろうというのです。

しかし、京都大学や東京大学などでは定年までの継続雇用を決めています。これは法人化前から数十年の長期間働いてきた非常勤職員を雇止めにする合理的理由が全くないからです。まして、職場や（裏面に続く）



今年もずっと走りぬくぞ!! 最後まであきらめずに闘うぞ!!

非常勤の皆様、2015年3月末まで残すところ1年となりました。「その後の更新なし」などという一言に反対し、継続雇用を勝ち取りましょう。今年もよろしくお願いします。

表が裏に変える瞬間を楽しんだ GAME
愛する君を守りながら今日も攻めるのさ
これは昨年12月にリリースされたコブクロのアルバムに収録されている『GAME』という曲の歌詞です。この『GAME』の歌詞に闘いへの思いが重なり、改めて闘い続ける意思を確認できました。

10年も20年も働いてきた非常勤から職を奪ったり、最初から6年だの5年だの期限をつけて雇ったり、大学は、合法的な装いの非常勤職員使い捨てシステムを「お知らせ」で完成させようとしています。そして次々と人を入れ替えていくのです。

このようなことが「表」としてまかり通っている、だけでなく、当の非常勤の人たちも「非正規だから仕方ないでしょ」と思われているのです。でも、このような「使い捨てシステム」に、合理的な理由はありません。大学が大学の都合の良いように屁理屈を述べ、好き放題にやっているだけです。こんな人をおいづつでも辞めさせる制度がわれわれ非常勤に必要なわけはありません。安心して働き続けられる職場が必要なのです。この「表」を「裏」に変えられるように、今年1年も楽しく闘っていきます。「終了の合図まで」あきらめず、走りぬきましょう。

(人間科学研究科図書室 石橋美香)

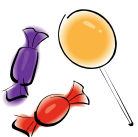
仕事がなくなる訳ではありません。長期非常勤職員のみなさん。大学に対して「次年度更新なし」を認めない、と声をあげましょう。自分たちで積み上げてきた仕事や職場を守ろうではありませんか。

私たちは大学に対して2015年3月末解雇をするな、と要求しつづけています。ところが、大学は「(要求が)従来と同じであり、新しい要求でない」ことを理由にして、不当にも団交を拒否しています。しかし、要求が従来どおりであるのは当然であり、要求内容について大学に介入される理由は全くありません。昨年12月18日、私たちは大学こそ団交中止を撤回せよ、と要求書を突き付けました。新年を迎え、私たちは決意あらたに取り組みを開始しています。大学の横暴を許さず、共に団結して闘いましょう。

5年上限撤回・共同要求で2時間団交したぞ!!

12月4日、関西圏大学非常勤講師組合と阪大分会は、大学と夕方6時から8時まで「団交時間・団交時間帯の制限の撤回と尾山理事の団交出席要請と5年上限撤回」要求の団交をおこなった。大学は「非常勤講師の契約は準委任契約である」と一方的に決めつけ、非常勤講師の労働者性を否定している。しかし、大学は法人化によって労働基準法適用団体になったので、大学で働く労働者はすべて労働基準法の適用対象者なのだ。文部科学省ですら労働者と認めた。大学の主張は労働基準法違反なのである。団交では、中谷伸二係長が組合側の発言を遮り、マニュアルを読むがごとく一人でしゃべりつづけて、批判の嵐が集中したが全く黙らない。ところが、吹田国際教育交流センターの5年上限問題の説明会で担当者が「非常勤講師は労働者である」と発言したことを追及されると、ハッと我にかえったのか、答えに詰まり、この説明会については後日回答すると応えた。共同団交等について、1月23日の学内学習討論集会で報告します。ぜひご参加ください。

◆支援者の声◆



「アメちゃんなめても、おばちゃんナメるな!!」

いつもながらの人を食ったような大学の態度。その背景には非正規差別だけではなく女性差別があると、今回強く感じた。例えば、関単労の女性組合員の発言にはなめたような物言いだ、非常勤講師組合の男性組合員に対しては多少なりとも敬意を払っている。団交に列席している11人の職員はすべて男性。部長級以上の専任職員に女性などいないに違いない。この女性差別を全面にだせば、専任の女性教職員の共感を得ることもできるのではないか。非正規問題は昔から「おばちゃん」問題なのだから。それにしてもいつもは穏やかな加藤さん、山鹿さんの団交時の迫力は素晴らしい。「おばちゃん」パワー万歳！（なんなん集会実行委員・嶋田ミカ）

集会の案内

◆阪大の非常勤雇止め（解雇）を許さない学習討論集会

1月23日（木）： 午後6時半から 千里中央公民館第3講座室
講演 脇田滋さん（龍谷大学・労働法学者 非正規労働者の権利実現
全国会議代表幹事）

主催 関西圏大学非常勤講師組合・関単労阪大分会

◆第5回なんで有期雇用なん!?

大学非正規労働者の雇い止めを許さない緊急集会

2月15日（土）： 午後1時から4時半予定、終了後、デモと交流会あり
大阪市立大学梅田サテライト（大阪駅前第2ビル6階）

招待講演 松村比奈子さん（首都圏大学非常勤講師組合委員長）

シンポジウム： 「大学の変質 法人化10年の闇を暴く」

◆第33回全国争議団交流会・交流集会

3月2日（土）： 午後5時半から 神戸学生青年センター

第5回「なんで有期雇用なん!？」集会

今年のテーマは……

「**10**年!!
じゃえじき 有期は
なんで雇用に上限つけるの?」

日時：2014年**2月15日**（土）
13:00開場 / 13:30開会 / 16:30終了予定

会場：大阪市立大学梅田サテライト
（大阪駅前第2ビル6階）

入場料：300円（+カンパ歓迎）

■招待講演：松村比奈子さん（首都圏大学非常勤講師組合）
■シンポジウム：「大学の変質—法人化10年の闇を暴く」
■各大学での争議・活動の紹介&アピール
■ライブ：童謡バンド（予定）

★詳細はブログ・twitterにて発表!

主催：「大学非正規労働者の雇い止めを許さない関西圏集會」実行委員会
Blog: <http://handenan0227.blogspot.jp/>
Mail: handenan0227@gmail.com
twitter: @nannan_kansai

☆非正規労働者の談話室

1月16日（木）午後6時～9時
：豊中市立千里中央公民館
（千里中央駅下車）視聴覚室